

科目名称：	英語コミュニケーションⅡ（ビジネス実務学科）	
担当者名：	三藤 加代子	
区分	授業形態	単位数
基礎教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
基礎的な語彙や文法・語法を学びながら、英語の4技能（リーディング、リスニング、スピーキング、ライティング）をバランスよく伸ばし、コミュニケーション力を伸ばします。特に、自分の意見をまとめ、人に伝える力を養います。また、様々な分野の事象に関して調べたり意見を交換したりして、視野を広げます。		
授業の達成目標・到達目標		
①自分の考えを英語でまとめ、効果的に相手に伝えるスキルを高める。 ②グループ活動等において、他者と協力して発表できる。 ③CEFR A2レベルを身に付ける。		

基礎教育科目		ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	自己理解を深め目標に向かって主体的に行動するとともに、多様性を尊重し他者との信頼関係を築いていくことができる。		
DP(2)	様々な課題に取り組み幅広い教養を身につけるとともに、変化する社会に対応するための協働的な実践力を身につけている。		○
DP(3)	専門的な知識や技能を修得し、それぞれの分野において、これらを柔軟に活用していくことができる。		

評価方法／ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 （レポート含む）	その他	合計
全学DP(1)					0
全学DP(2)	0	30	30	40	100
全学DP(3)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
なし	《内容1》	《経験年数1》
	《内容2》	《経験年数2》
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》
備考		

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
知識・理解	教材の内容を十分に理解できる。語彙・語法を理解し、使用できる。	教材の内容をほぼ理解できる。語彙・語法を理解し、いくつかを使うことができる。	教材の概要をつかむことができる。語彙・語法のいくつかを理解できる。	教材の内容を理解できない。語彙・語法を理解できない。
表現	適切な英語表現を用いて、自分の考えを相手に十分に伝えることができる。	英語を用いて、自分の考えをほぼ相手に伝えることができる。	英語を用いて、自分の考えの概略を何とか伝えることができる。	英語を用いて、自分の考えを伝えることができない。
学びに向かう姿勢	積極的に活動に取り組み、他と協力して効果的に発表できる。課題を完成する。	活動に協力的に参加し、十分な発表をすることができる。課題をほぼ完成している。	活動に参加し、自分の役割は果たすことができる。課題をある程度完成できる。	活動に参加しようとしな

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間（分）
第1回 イントロダクション	シラバスを読む	20分
第2回 グループワークによる問題解決学習	プリントに取り組む	30分
第3回 Unit 3 Talking about People、	プリントに取り組む、考えをまとめる	30分
第4回 Unit 4 Talking about Places	プリントに取り組む、考えをまとめる	30分
第5回 Unit 5 Telling Stories	プリントに取り組む、考えをまとめる	60分
第6回 小テスト①	第1回～5回の学習内容を振り返る	30分
第7回 Unit 7 Talking about Entertainment Unit 8 Doing a Little Research	プリントに取り組む	30分
第8回 Unit 11 Informative Speech Unit 13 Informative Speech with Powerpoint	プリントに取り組む	30分
第9回 プレゼンテーション（グループ）準備①	発表に向け資料を収集し、パワポおよび原稿を作成する	40分
第10回 プレゼンテーション（グループ）準備②	発表に向けパワポを作成し、原稿を仕上げ、発表の練習をする	60分
第11回 プレゼンテーション（グループ）発表、相互評価	プリントに取り組む	40分
第12回 小テスト②、Unit 12 Persuasive Speech Unit 14 Persuasive Speech with Powerpoint	第6回～11回の学習内容を振り返る	40分
第13回 プレゼンテーション（個人）準備①	発表に向け資料を収集し、資料を作成する	40分
第14回 小テスト③、プレゼンテーション（個人）準備②	会話形式のテスト。発表に向け資料を作成し、原稿を仕上げる	60分
第15回 プレゼンテーション（個人）発表、相互評価、まとめ	プレゼンを文章でまとめる	60分
事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。また、事前事後学修としては、授業で学んだ内容をまとめたりプレゼンテーションの準備をしたりする。		
成績評価の方法・基準		
定期試験は、実施しない。 その他の評価配分は、以下のとおりである。		
クイズ・小テスト30%、提出課題30%、その他40%（プレゼンテーション等30%、授業への積極的参加 10%）		
課題に対してのフィードバック		
課題やプロジェクトに対するフィードバックは、授業内で示されます。		
教科書・参考書		
教科書： Speaking in Public （成美堂） 事前事後学修および授業内において参照し、コミュニケーション活動での題材や発表活動での参考となる。		